

NIHON UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

2021

日本大学
大学院入学試験要項
商学研究科

令和3年度

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、入学試験の内容に変更が生じる場合がありますので、商学研究科HP (https://www.bus.nihon-u.ac.jp/graduate_school/)で最新情報を御確認ください。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科博士前期課程では、本研究科の教育研究上の目的に沿って設定した修了要件を満たし、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士（商学）の学位を授与する。本研究科博士後期課程では、本研究科の教育研究上の目的に沿って設定した修了要件を満たし、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士（商学）の学位を授与する。

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本研究科博士前期課程は、商学、経営学、会計学の専攻分野において広い視野に立った精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を有する人材を育成することを目的として、多様な科目を設置し、他専攻の科目も履修可能なカリキュラム編成を行う。

本研究科博士後期課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の専門的な業務に従事するのに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有する人材を育成することを目的として、指導教員が徹底した個人指導を行う。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科博士前期課程は、商学、経営学、会計学の分野において本研究科の教育研究上の目的に沿った研究を志す勉学意欲の高い者を求める。

本研究科博士後期課程は、商学、経営学、会計学の分野において先進的な研究を担うことができる研究者を目指す者、これらの分野における高度の専門的知識を身につけた専門職業人を目指す者を求める。

【個人情報の保護について】

日本大学では、出願書類に御記入いただきました志願者の氏名・住所等の個人情報は、入学試験の出願受付、実施、合格発表、さらには入学に至る一連の手続と、日本大学で学生生活を始めるに当たって必要となる書類・お知らせ等の送付及び入学者データの統計処理のために使用いたします。

なお、日本大学はこれらの業務の一部を業者に委託する場合があります。この場合、日本大学及び当該業務の委託を受けた業者は、上記利用目的の達成に必要な範囲を超えて志願者の個人情報を利用することはありません。

商学研究科の特色について

現代社会は、学問の発展がめざましく、学部レベルを超えた「知」が求められています。こうした要請に応えるために、日本大学大学院商学研究科では、「高度化・個性化・活性化」を基礎におきながら、研究者はもとより実務家を養成しています。

本研究科は、昭和35年（1960年）に商学専攻修士課程が創設されて以来、着実な発展を遂げてきました。現在では、博士前期課程（修士課程）および博士後期課程に商学・経営学・会計学の3専攻を擁し、それぞれの分野において高度な研究が行われ、学界のみならず各界へ有為な人材を輩出しています。

各専攻では、より高度な研究をめざすための徹底した個人指導という基本姿勢を堅持しています。それに従って、博士前期課程には、学問の世界を志す人、また社会人としての経験を研究に活かしたいという人のために多様な科目が設置されています。博士後期課程では、博士（商学）の学位取得と研究者をめざすこととなります。

入学後は、各々の専門分野で研究を積み重ねてきた教授陣が、大学院生の教育に当たるわけですが、それと同時に個々の指導教授が、院生の充実した研究活動のために、惜しめない助言と示唆を与えてくれます。環境に恵まれた砧キャンパスの中での、多彩な教授陣との対話や同じ志をもつ院生との交流は、学問の奥行きを深さを実感させることでしょう。

博士前期課程・博士後期課程

◆目 的

本大学院は、高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とします。

博士前期課程は、広い視野に立った精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。

博士後期課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

◆履修方法及び学位授与

博士前期課程は、標準修業年限の2年を在学し、専攻科目について32単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、更に修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士（商学）の学位を授与します。

ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

- 1 外国文献研究, リサーチ・メソドロジー及び演習は必修科目です。
- 2 授業は砧キャンパスで行います。
- 3 その他詳細は、ガイダンスにおいて指示・連絡します。

博士後期課程は、標準修業年限の3年を在学し、関連科目の必修8単位を修得し、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士（商学）の学位を授与します。

◆出願資格

1 博士前期課程入学試験

- ① 大学を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月31日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和3年3月修了見込みの者

- ⑧ 文部科学大臣の指定した者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和3年3月までに22歳に達する者

※上記出願資格のうち、⑨・⑩に該当する者は、個別の入学資格審査（書類審査）が必要となります。事前に商学研究科入試係（教務課）にお問い合わせの上、次の書類を事前審査受付期間に提出してください。

出願資格審査に必要な書類

- (1)出願資格審査申請書
- (2)出願資格調書
- (3)最終学校の卒業（修了）証書（写）又は卒業（修了）証明書
- (4)最終学校の成績証明書（写）
- (5)研究計画書

市販の封筒を使用して、大学院入試係に簡易書留郵便で送付してください。なお、出願書類は、入学資格審査が終了するまでその受理を保留します。

※日本語を母語としない者は、出願要件として、日本語能力試験（JLPT）N2レベル以上に合格している者を対象とします。

2 博士前期課程社会人入学試験

入学する時点において、大学卒業後、日本国内または日本企業での2年以上の職歴を有する者（在職証明書が必要です）

3 博士後期課程入学試験

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者及び令和3年3月までに取得する見込みの者
- ② 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与

与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者

- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、上記第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、修士論文又は特定課題の研究成果の審査と試験の合格に代える審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和3年3月までに24歳に達する者

※上記⑧は、高等専門学校・短期大学の卒業者、専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本分校・外国人学校の卒業者など大学卒業資格を有さない者で、修士の学位を有していない者を対象としています。

※上記出願資格のうち、⑧に該当する者は、個別の入学資格審査（書類審査）が必要となります。事前に商学研究科入試係（教務課）にお問い合わせの上、次の書類を、事前審査受付期間に提出してください。

出願資格審査に必要な書類

- (1) 出願資格審査申請書
- (2) 出願資格調書
- (3) 最終学校の卒業（修了）証書（写）又は卒業（修了）証明書
- (4) 最終学校の成績証明書（写）
- (5) 研究計画書

※日本語を母語としない者は、出願要件として、日本語能力試験（JLPT）N2レベル以上に合格している者を対象とします。

◆出願手続及び出願方法

1 出願書類

① 博士前期課程

- (1) 大学院入学志願票・受験票（本学所定用紙）
- (2) 大学の成績証明書
- (3) 大学の卒業証明書又は卒業見込証明書（ただし、学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与される見込みの者は、その申請をする予定である旨を記した在籍する短期大学長または高等専門学校長の証明書も併せて提出すること。）

※他の大学院を修了した者及び修了見込みの者は、大学院の成績証明書及び修了証明書または修了見込証明書も併せて提出してください。

- (4) 研究計画書 3 部（本研究科所定用紙。4,000字程度で 2 部はコピーでよい。なお、所定用紙と同様に、1 枚目の右上に受験番号記入欄，希望専攻名，氏名の記載があれば，ワープロソフト等で作成したものでも可。希望指導教員が内容を確認していること。）
- (5) 事前連絡確認書
- (6) 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の写し(日本語を母語としない方)

② 博士前期課程社会人

- (1) 大学院入学志願票・受験票（本学所定用紙）
- (2) 職歴表（本研究科所定用紙。在職証明書を添付すること。）
- (3) 大学の成績証明書
- (4) 大学の卒業証明書

※他の大学院を修了した者及び修了見込みの者は、大学院の成績証明書及び修了証明書または修了見込証明書も併せて提出してください。

- (5) 研究計画書 3 部（本研究科所定用紙。4,000字程度で 2 部はコピーでよい。なお、所定用紙の 1 枚目と同様に、右上に受験番号記入欄，希望専攻名，氏名の記載があれば，ワープロソフト等で作成したものでも可。希望指導教員が内容を確認していること。）
- (6) 事前連絡確認書
- (7) 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の写し(日本語を母語としない方)

③ 博士後期課程

- (1) 大学院入学志願票・受験票（本学所定用紙）
- (2) 大学院の成績証明書
- (3) 大学の成績証明書
- (4) 大学の卒業証明書
- (5) 大学院の修了証明書または修了見込証明書
- (6) 修士論文またはそれに準ずる論文 4 部（4 部ともコピーでよい。）
- (7) 修士論文またはそれに準ずる論文の要旨 4 部（4,000字程度で 3 部はコピーでよい。）
- (8) その他に研究業績があれば 4 部
- (9) 研究計画書 4 部（本研究科所定用紙。4,000字程度で 3 部はコピーでよい。な

お、所定用紙の1枚目と同様に、右上に受験番号記入欄、希望専攻名、氏名の記載があれば、ワープロソフト等で作成したものでも可。希望指導教員が内容を確認していること。)

(10) 事前連絡確認書

(11) 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の写し(日本語を母語としない方)

2 入学検定料

35,000円

上記の金額を「振込依頼書」(本研究科所定用紙)にて、金融機関(ゆうちょ銀行を除く)窓口より振り込んでください。

入試コードは下記の表を参照の上、記入してください。

入試コード

	博士前期課程	博士前期課程 社会人	博士後期課程
第1期	57	59	55
第2期	58	60	56

3 出願方法

出願締切日までに郵送必着です。

出願書類及び入学検定料(振込確認票)と受験票返送用封筒(本学所定の宛名ラベルを貼り付けたもの)を一括同封して、本研究科入試係に必ず簡易書留郵便で送付手続きをし、受験票の交付を受けてください。

受験票返送用封筒には、志願者の住所・氏名を明記してください。なお、返送用の切手は不要です。

試験日が迫って、受験票の返送が間に合わない場合には、本研究科入試係で保管しておきますので、受験の前に受け取ってください。

志願者の方が外国籍の場合は、出願前に研究科へ事前連絡し、希望する指導教員や研究内容等を確認完了後に、研究科から志願者の方へ「事前連絡確認書」の交付を受けてください。なお、交付には時間を要する場合があるため、出願締切日の10日前までに事前連絡の受付を完了させてください。

事前連絡先 e-mail: bus.gsb@nihon-u.ac.jp

◆入学志願票・受験票記入上の注意

※入学志願票・受験票の記入は、万年筆かボールペン(黒または青)を使用し、必

ず本人が丁寧に記入してください。

※出願に際しては、志願票、写真票、整理票・受験票は切り離さずに、送付してください。

1 志願票

- ① 「試験区分」・「志望課程」欄は、志望するもの1つを○で囲んでください。
- ② 「志望研究科」欄に商学研究科と記入し、「志望専攻・系」欄に志望する専攻名を記入してください。ただし、第二志望は認めていませんので記入しないでください。また「志望専攻分野」・「志望専攻・構成科目」欄は記入しないでください。
- ③ 「選択外国語」欄は受験を希望するもの1つを○で囲んでください。
- ④ 「学部または修士の論文テーマ」と、「今後の研究テーマ」を記入してください。
- ⑤ 「氏名」欄のフリガナはカタカナで記入してください。

なお、外国籍の方が通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。

- ⑥ 「性別」欄は、該当する方を○で囲んでください。
- ⑦ 「年齢」欄は、令和3年4月1日現在で記入してください。
- ⑧ 「生年月日」欄は、月・日が1桁の場合は十の位に0を記入してください。
- ⑨ 「連絡先住所」欄は、必ず連絡がとれる住所を記入してください。郵便番号は7桁で記入してください。電話番号は原則として自宅の電話番号を記入し、やむを得ない場合に限り、携帯電話の番号を認めます。メールアドレスは携帯・パソコンどちらでも構いません。
- ⑩ 「学歴」欄と「職歴・研究室」欄は、該当する箇所のみ記入し、必要な箇所を○で囲んでください。
- ⑪ 「保証人」欄には、保証人の氏名、郵便番号（7桁）、住所、電話番号を記入してください。
- ⑫ 研究科使用欄①には、事前連絡で確認を受けた希望指導教員名を記入してください。

2 写真票

- ① 志願票を参考に記入してください。「志望専攻分野」・「志望専攻・構成科目」欄は記入しないでください。また「照合印」欄には何も記入しないでください。
- ② 「写真貼付欄」には、最近3か月以内に撮影した正面上半身・脱帽で、背景

の無い縦4 cm ×横3 cmのものを貼ってください（カラー・白黒は問いません）。

なお、試験中に眼鏡を使用する人は、眼鏡をかけた状態で写真を撮ってください。

3 整理票

- ① 志願票を参考に記入してください。「志望専攻分野」・「志望専攻・構成科目」欄は、記入しないでください。

4 受験票

- ① 志願票を参考に記入してください。「志望専攻分野」・「志望専攻・構成科目」欄は記入しないでください。
- ② 「写真貼付欄」には、写真票と同じ写真を貼ってください。
- ③ 「写真貼付欄」横の注意事項を事前によく読んでおいてください。

◆出願書類の送付先及び試験場

日本大学大学院商学研究科入試係 電話 03(3749)6712

〒157-8570 東京都世田谷区砧5-2-1

小田急線「祖師ヶ谷大蔵」駅下車 徒歩12分

または小田急線「成城学園前」駅から東急・小田急バス渋谷・三軒茶屋方面行で「日大商学部前」下車

◆募集人員

専攻	課程	
	博士前期課程	博士後期課程
商学専攻	30名	3名
経営学専攻	30名	5名
会計学専攻	30名	5名

（備考）・募集人員は第1期・第2期の合計数で、社会人を含みます。

◆入試諸日程

区分	試験名	出願受付期間 (郵送必着)	試験日 (筆記・口述)	合格発表日	入学手続締切日		
					一括	申込金締切日	残金締切日
第1期	博士前期課程	令和2年 9月9日(水)～ 9月17日(木)	令和2年 10月3日 (土)	令和2年 10月14日 (水)	令和2年 10月30日 (金)	令和2年 10月30日 (金)	令和3年 3月11日 (木)
	博士前期課程 社会人	(事前審査受付期間 令和2年 7月31日(金)～ 8月19日(水))				—	—
	博士後期課程					令和2年 10月30日 (金)	令和3年 3月11日 (木)
第2期	博士前期課程	令和3年 1月12日(火)～ 1月20日(水)	令和3年 2月10日 (水)	令和3年 2月19日 (金)	令和3年 3月1日 (月)	令和3年 3月1日 (月)	令和3年 3月11日 (木)
	博士前期課程 社会人	(事前審査受付期間 令和2年 11月30日(月)～ 12月 4日(金))				—	—
	博士後期課程					令和3年 3月1日 (月)	令和3年 3月11日 (木)

(備考) ・合格発表は、掲示及び郵送で通知します。

- ・最終手続締切日の3月11日(木)に振り込まれる場合は、午前中に振り込んでください。

◆試験科目

項目		試験科目	試験時間
博士前期課程	一般	筆記試験 外国語：英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・日本語のうち母語を除く一つの言語選択（辞書使用可） 専門科目：商学・経営学・会計学のうち専攻に応じた1科目 口述試験 研究テーマ及び専攻科目について	9:00～10:30 10:40～12:10 筆記試験終了後実施
	社会人	筆記試験 外国語：英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・日本語のうち母語を除く一つの言語選択（辞書使用可） 口述試験 研究テーマ及び専攻科目について	9:00～10:30 筆記試験終了後実施
博士後期課程		筆記試験 外国語：英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・日本語のうち母語を除く一つの言語選択（辞書使用可） 専門科目：商学・経営学・会計学のうち専攻に応じた1科目 口述試験 専攻科目について（修士論文等）	9:00～10:15 10:30～11:45 13:00～15:00 筆記試験終了後実施

（備考）・午前8時40分までに集合してください。

・辞書は、大学で準備します。

・試験の開始時刻等が変更される場合があります。詳細は送付される「入学試験受験心得」で確認してください。

◆合格発表

第1期 令和2年10月14日（水）

第2期 令和3年2月19日（金）

合格者には、合格発表日に郵便にて合格通知書を発送します。

◆入学手続

- 1 合格者は、合格発表の翌日から指示された期限までに入学時納入金を納め、入学手続を完了してください。期限までに入学手続きを完了しない場合は、入学資格を取り消します。
- 2 入学手続完了後（入学時納入金を全額納入した後）に、やむをえない理由によって本学への入学を辞退する場合は、電話により令和3年3月31日（水）17時までに入学を辞退する本研究科の入試係へ申し出てください。

申し出を受理しますと、「入学辞退願」を本学より送付いたしますので、必要事項を記入の上、既送の「入学許可書」と併せて速やかに返送してください。

手続き終了後、入学金を除く入学時納入金（諸会費等を含む）は返還いたします。ただし、いったん提出された入学手続書類及び入学金は返還いたしません。

なお、令和3年4月1日（木）以降に申し出があった場合は、本学に学籍が生じておりますので、入学手続書類及び入学金を含む入学時納入金は返還いたしません（傷害保険については、約款の定めるところによる）。

- 《注意》① 入学辞退の申し出受理に際しては、直接本人の意思確認をさせていただきます。
- ② 入学辞退の申し出を、本学が受理した後の辞退の取り消しは認めません。
 - ③ 「入学辞退願」が提出されない場合、入学金を除く入学時納入金の返還手続きができませんので、必ず提出してください。

【問合せ先】 日本大学大学院商学研究科入試係

受 付 電 話 03-3749-6712

受 付 日 ・ 時 間 月曜日～金曜日 10：00～17：00

（日曜・祝日除く）土曜日 10：00～13：00

- 3 その他、詳細は合格後郵送される入学手続要項を参照してください。

◆よくある質問等

Q1 税理士試験の試験科目免除はありますか。

A1 税理士試験の試験科目免除の対象は、会計学専攻の者に限ります。なお、免除科目数は1科目です。

Q2 授業科目は、毎年度同じですか。

A2 毎年度、授業科目については変更となる場合があります。なお、令和2年度にカリキュラムを変更しています。このため、一部掲載の内容から変更する場合があります。

Q3 現在、他の大学院に在学しており、来年度も継続して在学予定ですが、受験することは可能ですか。

A3 二重学籍に該当する場合は、入学することができません。学校教育法に定める大学・短期大学・大学院に在学している者、及び聴講生・科目履修生等は本学には入学できません。

Q4 外国の大学を卒業した場合は、出願資格がありますか。

A4 外国の学校における課程については諸条件がありますので、出願資格の項目に記載された内容を御確認ください。なお、博士前期課程入学試験の出願資格において、「①大学を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者」と記載がありますが、これは日本の大学を卒業することを示しています。

Q5 小学校までは中国に在住し、中学校から日本に在住していますが、この場合の母語についてはどうなるのでしょうか。

A5 母語については、個人によって状況が異なります。このため、母語について不明な点がある場合は、研究科までお問い合わせください。

問合せ先：bus.gsb@nihon-u.ac.jp

Q6 個別の入学審査により、「大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは具体的にどのようなことですか。

A6 日本の大学を卒業したことにより、学士の学位に相当する学位を授与された者に相当する者となります。

令和元年度入学者納入金

(単位：円)

項 目	課 程		博士前期課程		博士後期課程	
入 学 金 (A)	(学外)	200,000	(学外)	200,000	(学外)	200,000
	(学内)	0	(学内)	0	(学内)	0
授 業 料 (B)	②	580,000	②	580,000	②	580,000
施 設 設 備 資 金 (C)	②	150,000	②	150,000	②	150,000
日本大学校友会準会員会費 (D)		10,000		10,000		10,000
初 年 度 納 入 金 額 (A)+(B)+(C)+(D)	(学外)	940,000	(学外)	940,000	(学外)	940,000
	(学内)	740,000	(学内)	740,000	(学内)	740,000
入 学 手 続 時 納 入 金 額	(学外)	575,000	(学外)	575,000	(学外)	575,000
	(学内)	375,000	(学内)	375,000	(学内)	375,000
次 年 度 納 入 金 額	②	740,000	②	740,000	②	740,000

(備考)・入学金は初年度のみ納入。②は分納(前期・後期)回数。

- ・表中の(学内)は、本学を卒業した者または本大学院を修了した者の納入金額。
- ・修了年度に校友会正会員会費初年度分を1万円納入。

◆令和2年度 授業科目・担当教員(博士前期課程・博士後期課程)

1 博士前期課程 (授業科目と担当教員)

▶商学専攻

科 目 名	単位	担 当 者
サービス・マーケティング特殊講義A	2	講 師 相 原 修
サービス・マーケティング特殊講義B	2	講 師 相 原 修
商学 (総論) 特殊講義A	2	教 授 博士 (経営学) 水 野 学
商学 (総論) 特殊講義B	2	教 授 博士 (経営学) 水 野 学
マーケティング論特殊講義A	2	教 授 博士 (商学) 金 雲 鎬
マーケティング論特殊講義B	2	教 授 博士 (商学) 金 雲 鎬
グローバル・マーケティング特殊講義A	2	教 授 嶋 正
グローバル・マーケティング特殊講義B	2	教 授 嶋 正
エリア・マーケティング特殊講義A	2	教 授 岩 田 貴 子
エリア・マーケティング特殊講義B	2	教 授 岩 田 貴 子
消費者行動論特殊講義A	2	
消費者行動論特殊講義B	2	
ブランド・マネジメント特殊講義A	2	准 教 授 博士 (経営学) 井 上 真 里
ブランド・マネジメント特殊講義B	2	准 教 授 博士 (経営学) 井 上 真 里
商業史特殊講義 (I) A	2	准 教 授 Ph. D. 竹 内 真 人
商業史特殊講義 (I) B	2	准 教 授 Ph. D. 竹 内 真 人
商業史特殊講義 (II) A	2	
商業史特殊講義 (II) B	2	
金融史特殊講義A	2	教 授 博士 (経済学) S. J. バイスウェイ
金融史特殊講義B	2	教 授 博士 (経済学) S. J. バイスウェイ
産業経済論特殊講義A	2	教 授 安 田 武 彦
産業経済論特殊講義B	2	教 授 安 田 武 彦
協同組合論特殊講義A	2	
協同組合論特殊講義B	2	
社会保障論特殊講義A	2	教 授 Ph. D. 塚 田 典 子

社会保障論特殊講義B	2	教授 Ph. D.	塚田典子
貿易論特殊講義A	2	教授 Ph. D.	松原聖
貿易論特殊講義B	2	教授 Ph. D.	松原聖
戦略マーケティング特殊講義A	2		
戦略マーケティング特殊講義B	2		
物流論特殊講義A	2		
物流論特殊講義B	2		
マーケティング・コミュニケーション論特殊講義A	2		
マーケティング・コミュニケーション論特殊講義B	2		
マーケティング・リサーチ特殊講義A	2		
マーケティング・リサーチ特殊講義B	2		
観光マーケティング特殊講義A	2		
観光マーケティング特殊講義B	2		
国際ビジネス論特殊講義A	2		
国際ビジネス論特殊講義B	2		
マーケティング・マネジメント特殊講義A	2		
マーケティング・マネジメント特殊講義B	2		
金融論特殊講義A	2		
金融論特殊講義B	2		
企業金融論特殊講義A	2	講師 Ph. D.	辰巳憲一
企業金融論特殊講義B	2	講師 Ph. D.	辰巳憲一
金融機関論特殊講義A	2	教授	長谷川勉
金融機関論特殊講義B	2	教授	長谷川勉
証券市場論特殊講義A	2	講師 博士(商学)	佐藤猛
証券市場論特殊講義B	2	講師 博士(商学)	佐藤猛
国際金融論特殊講義A	2	講師 博士(商学)	宅和公志
国際金融論特殊講義B	2	講師 博士(商学)	宅和公志
保険論特殊講義A	2		

保険論特殊講義B	2	
商学演習	4	教授 博士(商学) 金 雲 鎬
		教授 嶋 正
		教授 岩 田 貴 子
		教授 博士(経済学) S. J. バイスウェイ
		教授 安 田 武 彦
		教授 Ph. D. 塚 田 典 子
		教授 Ph. D. 松 原 聖
		教授 長谷川 勉
		教授 関 谷 喜三郎
		教授 Ph. D. 池 野 秀 弘
		教授 博士(経済学) 大 島 考 介
		教授 博士(学術) 張 喬 森
		教授 博士(経営学) 水 野 学
		准教授 博士(経営学) 井 上 真 里
		准教授 Ph. D. 竹 内 真 人
教授 博士(経営学) 岸 本 徹 也		
関連科目		
マクロ経済学特殊講義A	2	教授 関 谷 喜三郎
マクロ経済学特殊講義B	2	教授 関 谷 喜三郎
ミクロ経済学特殊講義A	2	教授 Ph. D. 池 野 秀 弘
ミクロ経済学特殊講義B	2	教授 Ph. D. 池 野 秀 弘
財政学特殊講義A	2	教授 博士(経済学) 大 島 考 介
財政学特殊講義B	2	教授 博士(経済学) 大 島 考 介
リサーチ・メソドロジーA	2	講師 博士(商学) 山 田 敏 之
リサーチ・メソドロジーB	2	講師 神 田 良
外国文献研究(英)	2	准教授 Ph. D. 竹 内 真 人
外国文献研究(独)	2	教授 博士(経営学) 平 澤 克 彦

外国文献研究（仏）	2	講 師 博士（商学）	佐 藤 猛
外国文献研究（中）	2	教 授	高久保 豊
外国文献研究（日）	2	講 師	佐々木 實 雄

▶経営学専攻

科 目 名	単位	担 当 者	
経営学特殊講義（Ⅰ）A	2	教 授 博士（経営学）	所 伸 之
経営学特殊講義（Ⅰ）B	2	教 授 博士（経営学）	所 伸 之
経営学特殊講義（Ⅱ）A	2	教 授	高久保 豊
経営学特殊講義（Ⅱ）B	2	教 授	高久保 豊
産業・組織心理学特殊講義A	2	講 師	外 島 裕
産業・組織心理学特殊講義B	2	講 師	外 島 裕
企業倫理論特殊講義A	2	教 授 博士（経営学）	鈴 木 由紀子
企業倫理論特殊講義B	2	教 授 博士（経営学）	鈴 木 由紀子
企業形態論特殊講義A	2	講 師 博士（商学）	松 田 健
企業形態論特殊講義B	2	講 師 博士（商学）	松 田 健
経営経済学特殊講義A	2		
経営経済学特殊講義B	2		
経営学説史特殊講義A	2	准 教 授 博士（商学）	柴 田 明
経営学説史特殊講義B	2	准 教 授 博士（商学）	柴 田 明
経営管理論特殊講義（Ⅰ）A	2	講 師 博士（商学）	周 炫 宗
経営管理論特殊講義（Ⅰ）B	2	教 授 博士（商学）	坂 本 義 和
経営管理論特殊講義（Ⅱ）A	2	講 師	百 田 義 治
経営管理論特殊講義（Ⅱ）B	2	講 師	百 田 義 治
経営戦略論特殊講義A	2	教 授 博士（商学）	高 井 透
経営戦略論特殊講義B	2	教 授 博士（商学）	高 井 透
生産管理論特殊講義A	2		

生産管理論特殊講義B	2		
人的資源管理論特殊講義（Ⅰ）A	2	教 授 博士（経営学）	平 澤 克 彦
人的資源管理論特殊講義（Ⅰ）B	2	教 授 博士（経営学）	平 澤 克 彦
人的資源管理論特殊講義（Ⅱ）A	2	教 授 博士（学術）	平 松 庸 一
人的資源管理論特殊講義（Ⅱ）B	2	教 授 博士（学術）	平 松 庸 一
経営財務論特殊講義A	2	教 授 博士（経済学）	菅 野 正 泰
経営財務論特殊講義B	2	教 授 博士（経済学）	菅 野 正 泰
情報マネジメント論特殊講義A	2	教 授 博士（工学）	児 玉 充
情報マネジメント論特殊講義B	2	教 授 博士（工学）	児 玉 充
テクノロジー・マネジメント特殊講義A	2		
テクノロジー・マネジメント特殊講義B	2		
経営分析論特殊講義A	2		
経営分析論特殊講義B	2		
経営史特殊講義A	2		
経営史特殊講義B	2		
経営組織論特殊講義（Ⅰ）A	2	准 教 授 博士（経営学）	中 川 充
経営組織論特殊講義（Ⅰ）B	2	准 教 授 博士（経営学）	中 川 充
経営組織論特殊講義（Ⅱ）A	2	講 師	松 本 芳 男
経営組織論特殊講義（Ⅱ）B	2	講 師	松 本 芳 男
経営組織論特殊講義（Ⅲ）A	2	講 師	小 阪 隆 秀
経営組織論特殊講義（Ⅲ）B	2	講 師	小 阪 隆 秀
ベンチャー企業経営論特殊講義A	2	教 授	鈴 木 正 明
ベンチャー企業経営論特殊講義B	2	教 授	鈴 木 正 明
中小企業経営論特殊講義A	2		
中小企業経営論特殊講義B	2		
グローバル・マネジメント論特殊講義A	2	講 師	桑 名 義 晴
グローバル・マネジメント論特殊講義B	2	講 師	桑 名 義 晴
医療経営管理論特殊講義A	2	兼担教授	高 橋 淑 郎

医療経営管理論特殊講義B	2	兼担教授	高橋 淑郎
経営学演習	4	教授 博士(経営学)	所 伸之
		教授	高久保 豊
		教授 博士(商学)	高井 透
		教授 博士(経営学)	平澤 克彦
		教授 博士(経済学)	菅野 正泰
		教授 博士(工学)	児玉 充
		教授 博士(商学)	坂本 義和
		准教授 博士(商学)	柴田 明
		准教授 博士(経営学)	中川 充
		教授 博士(経営学)	鈴木 由紀子
		教授	鈴木 正明
教授 博士(学術)	平松 庸一		
関連科目			
マクロ経済学特殊講義A	2	教授	関谷 喜三郎
マクロ経済学特殊講義B	2	教授	関谷 喜三郎
ミクロ経済学特殊講義A	2	教授 Ph.D.	池野 秀弘
ミクロ経済学特殊講義B	2	教授 Ph.D.	池野 秀弘
財政学特殊講義A	2	教授 博士(経済学)	大島 考介
財政学特殊講義B	2	教授 博士(経済学)	大島 考介
リサーチ・メソドロジーA	2	講師 博士(商学)	山田 敏之
リサーチ・メソドロジーB	2	講師	神田 良
外国文献研究(英)	2	教授	高橋 意智郎
外国文献研究(独)	2	教授 博士(経営学)	平澤 克彦
外国文献研究(仏)	2	講師 博士(商学)	佐藤 猛
外国文献研究(中)	2	教授	高久保 豊
外国文献研究(日)	2	兼担准教授	山本 篤民

▶ 会計学専攻

科目名	単位	担当者
財務会計論特殊講義 (I) A	2	教授 博士 (会計学) 林 健 治
財務会計論特殊講義 (I) B	2	教授 博士 (会計学) 林 健 治
財務会計論特殊講義 (II) A	2	教授 村 井 秀 樹
財務会計論特殊講義 (II) B	2	教授 村 井 秀 樹
制度会計論特殊講義 (I) A	2	教授 村 田 英 治
制度会計論特殊講義 (I) B	2	教授 村 田 英 治
制度会計論特殊講義 (II) A	2	講 師 博士 (商学) 五十嵐 邦 正
制度会計論特殊講義 (II) B	2	講 師 博士 (商学) 五十嵐 邦 正
簿記論特殊講義 (I) A	2	
簿記論特殊講義 (I) B	2	
簿記論特殊講義 (II) A	2	教授 壹 岐 芳 弘
簿記論特殊講義 (II) B	2	教授 壹 岐 芳 弘
原価計算論特殊講義 (I) A	2	
原価計算論特殊講義 (I) B	2	
原価計算論特殊講義 (II) A	2	教授 博士 (経営学) 劉 慕 和
原価計算論特殊講義 (II) B	2	教授 博士 (経営学) 劉 慕 和
管理会計論特殊講義 (I) A	2	教授 博士 (経営学) 新 江 孝
管理会計論特殊講義 (I) B	2	教授 博士 (経営学) 新 江 孝
管理会計論特殊講義 (II) A	2	
管理会計論特殊講義 (II) B	2	
税務会計論特殊講義 (I) A	2	兼担教授 博士 (法学) 平 野 嘉 秋
税務会計論特殊講義 (I) B	2	兼担教授 博士 (法学) 平 野 嘉 秋
税務会計論特殊講義 (II) A	2	
税務会計論特殊講義 (II) B	2	
監査論特殊講義 (I) A	2	准教授 博士 (法学) 紺 野 卓
監査論特殊講義 (I) B	2	准教授 博士 (法学) 紺 野 卓
監査論特殊講義 (II) A	2	教授 博士 (商学) 堀 江 正 之

監査論特殊講義（Ⅱ）B	2	教 授 博士（商学）	堀 江 正 之
財務諸表分析論特殊講義A	2	教 授	田 村 八十一
財務諸表分析論特殊講義B	2	教 授	田 村 八十一
国際会計論特殊講義A	2		
国際会計論特殊講義B	2		
会計学演習	4	教 授 博士（会計学）	林 健 治
		教 授	村 井 秀 樹
		教 授	村 田 英 治
		教 授	壹 岐 芳 弘
		教 授 博士（経営学）	新 江 孝
		教 授 博士（商学）	堀 江 正 之
		教 授	田 村 八十一
		教 授 博士（経営学）	劉 慕 和
		准教授 博士（商学）	吉 田 武 史
		准教授 博士（法学）	紺 野 卓
関連科目			
マクロ経済学特殊講義A	2	教 授	関 谷 喜三郎
マクロ経済学特殊講義B	2	教 授	関 谷 喜三郎
ミクロ経済学特殊講義A	2	教 授 Ph. D.	池 野 秀 弘
ミクロ経済学特殊講義B	2	教 授 Ph. D.	池 野 秀 弘
財政学特殊講義A	2	教 授 博士（経済学）	大 島 考 介
財政学特殊講義B	2	教 授 博士（経済学）	大 島 考 介
リサーチ・メソドロジーA	2	講 師 博士（商学）	山 田 敏 之
リサーチ・メソドロジーB	2	講 師	神 田 良
外国文献研究（英）	2	教 授	壹 岐 芳 弘
外国文献研究（独）	2	教 授 博士（経営学）	平 澤 克 彦
外国文献研究（仏）	2	講 師 博士（商学）	佐 藤 猛
外国文献研究（中）	2	教 授	高久保 豊
外国文献研究（日）	2	講 師 博士（商学）	五十嵐 邦 正

2 博士後期課程（授業科目と担当教員）

▶ 商学専攻

科目名	単位	担当者
商学特殊研究	—	教授 博士（経営学） 水野 学
		教授 博士（商学） 金 雲 鎬
商業史特殊研究	—	教授 博士（経済学） S. J. バイスウェイ
マーケティング特殊研究	—	
貿易論特殊研究	—	教授 Ph. D. 松原 聖
		教授 博士（学術） 張 喬 森
物流論特殊研究	—	
金融論特殊研究	—	教授 Ph. D. 池野 秀 弘
保険論特殊研究	—	教授 Ph. D. 塚田 典 子
流通システム論特殊研究	—	
関連科目		
理論構築特殊研究A	2	教授 博士（商学） 高井 透
理論構築特殊研究B	2	教授 博士（商学） 金 雲 鎬
グローバル・リサーチ特殊研究A	2	講師 博士（商学） 五十嵐 邦 正
グローバル・リサーチ特殊研究B	2	講師 博士（商学） 五十嵐 邦 正

▶ 経営学専攻

科目名	単位	担当者
経営学特殊研究	—	教授 博士(工学) 児玉 充
		教授 博士(商学) 高井 透
		教授 博士(経営学) 所 伸之
		教授 高久保 豊
人的資源管理論特殊研究	—	教授 博士(経営学) 平澤 克彦
経営組織論特殊研究	—	
中小企業経営論特殊研究	—	
企業形態論特殊研究	—	
企業倫理論特殊研究	—	教授 博士(経営学) 鈴木 由紀子
経営管理論特殊研究	—	
経営史特殊研究	—	
経営分析論特殊研究	—	教授 博士(経済学) 菅野 正泰
関連科目		
理論構築特殊研究A	2	教授 博士(商学) 高井 透
理論構築特殊研究B	2	教授 博士(商学) 金 雲 鎬
グローバル・リサーチ特殊研究A	2	講師 博士(商学) 五十嵐 邦 正
グローバル・リサーチ特殊研究B	2	講師 博士(商学) 五十嵐 邦 正

▶会計学専攻

科目名	単位	担当者
財務会計論特殊研究	—	教授 博士(会計学) 林 健 治
		教授 村 田 英 治
管理会計論特殊研究	—	教授 博士(経営学) 新 江 孝
		教授 博士(経営学) 劉 慕 和
税務会計論特殊研究	—	教授 博士(法学) 平 野 嘉 秋
監査論特殊研究	—	教授 博士(商学) 堀 江 正 之
財務諸表分析論特殊研究	—	
関連科目		
理論構築特殊研究A	2	教授 博士(商学) 高 井 透
理論構築特殊研究B	2	教授 博士(商学) 金 雲 鎬
グローバル・リサーチ特殊研究A	2	講師 博士(商学) 五十嵐 邦 正
グローバル・リサーチ特殊研究B	2	講師 博士(商学) 五十嵐 邦 正